

		問4-1																問4-2
		不調率(%)								不落率(%)								不調不落対応の内容
		2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	
1	北海道	2.6	0.6	1	7.4	6.2	4.8	2.9	2.5	2	1	1.2	2.7	1.4	1.1	1	1	発注ロットの適切な設定
2	青森	2.1	2.2	2.1	1.7	1.1	1.3	1.5	1.8	0.1	0.2	0.1	0.1	0	0	0.1	0.1	指名競争入札から一般競争入札への変更 地域要件の変更 仕様変更・再積算
3	岩手	20.9	8.8	9.6	18.8	19.3	15	11.8	5.6	0	0	0	0	0	0	0	0	再公告 不調随契
4	宮城	21.1	19.4	24.8	22.4	18.5	20.5	19.3	10.7	0	0	0	0	0	0	0	0	入札参加要件（地域要件等）の拡大
5	秋田	11.5	4.8	3.6	5.5	12.4	6.8	4.5	5.3	0.5	1.03	0.15	0.05	0.09	0.05	0.01	0	ゼロ債務負担の活用や早期の繰越明許の設定による発注時期の前倒しによる施行時期の平準化
6	山形	14.4	12	8.5	14.2	11	14.7	9.3	11.3	1.9	3	2.6	3.4	3.1	3.2	1.9	1.8	発注見込みの公表、余裕期間制度の活用、0 国債や繰越を活用した平準化、見積り等を活用した適切な積算、工事の規模別発注に係る対象業者の拡大
7	福島	19.8	8.6	11.6	8	6.5	12.1	9.6	6.4	4	1.3	3.5	1.4	1.3	6.6	2	1.2	未回答
8	茨城	3.2	2.7	2.5	2.2	2	2.6	3.3	1.6	0	0	0	0	0	0	0	0	施工業者の参加資格の見直し 余裕期間制度を利用して発注

[illegible]

[illegible]

27	大阪	3.4	1	0.9	1.5	3.3	3.3	1.1	0.6	4.8	3.5	3.4	2.9	4.4	3.9	2.8	1.9	発注規模・入札参加資格の見直し
28	兵庫	-	-	-	4	6.1	4.7	2.6	2.4	-	-	-	1.5	1.7	1.3	1.3	1.3	未回答
29	奈良	4	0	0	1	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	原則として発注要件を見直し再度入札を行う
30	和歌山	6.6	1.7	0.8	1.4	3.8	9.2	3.7	1.4	-	-	-	-	-	-	-	-	地方自治法施行令167条の2第1項8号に記載の条件により随意契約を実施している
31	鳥取	-	-	4.4	6.5	8.8	13.7	8.2	8	-	-	2.6	3.2	4.1	3.7	1.7	1.1	未回答
32	島根	8.5	2	1.8	1.9	4.5	4.9	5.5	3	1.1	1.6	1.2	1	1.4	0.5	1	1.2	未回答

33	岡山	-	-	-	-	3.1	6.4	2.7	1	-	-	-	-	0	0	0	0	入札調査委員会において、再設計による再度公告入札を行うか、随意契約を行うか検討する。
34	広島	3.6	4.4	7.2	4.4	7.3	34.8	15.6	8	0.1	0	0.1	0	0.1	0.3	0	0.1	発注機会の平準化、工事内容や工期の適切な設定、積算の見直し等を複合的に実施している。
35	山口	7.3	4.4	4.3	3.6	6.7	10.3	6.8	4.9	0.8	0.9	1.1	1.3	0.6	1	1.7	1.1	発注時期、設計の見直し、選定業者の拡大等
36	徳島	-	-	-	4.7	7	11.6	9.4	10.9	-	-	-	0	0	0.2	0.3	0.1	発注時期、公示価格及び規模について再度検討し、発注を行っている。
37	香川	2.97	2.09	2.11	1.78	2.1	4.18	3.7	1.79	0.05	0	0	0	0.05	0.09	0	0.25	工事内容や発注ロットを見直しの上再度入札に付している
38	愛媛	2.1	1.3	1.1	1.1	2.7	4	1.3	2.2	0	0	0	0	0	0	0	0	現在該当等級及び直近上位等級の格付けを入札参加資格の要件としているところ、不調となった案件についてはすべての格付け等級業者の入札を可能としている。また工事によっては他の工事と合冊して再度発注を行う、他工事の変更契約で対応するなどとしている
39	高知	9.3	9.8	7.7	7.7	7.2	15.3	9.2	9.6	-	-	-	-	-	-	-	-	繁忙期を避け、改めて入札を行う
40	福岡	4.66	3.88	4.14	3.95	7.7	8.24	5.94	3.99	0.08	0.2	0.47	0.37	0.03	0	0.14	0.05	自体事業者からの聴き取りを参考に、設計を見直したり、指名業者の組替、指名業者数を増やす等の措置を講じている（案件により対応は異なる）

41	佐賀	5	2	2	4	9	15	7	7	2	1	1	2	3	3	2	2	工事内容の見直し、入札参加要件や地区要件の拡大を行った上で再入札を行っています。
42	長崎	6.3	3.2	4	4.3	6.1	7.3	8.6	8.7	-	-	-	-	-	-	-	-	未回答
43	熊本	-	0.7	9.4	14.7	5.3	5.3	5	11.9	-	-	-	-	-	-	-	-	発注見通しの公表 余裕期間の確保
44	大分	2.1	2.5	2.4	6.8	9	6.5	7.9	9	0.1	0.1	0.3	0	0.1	0.3	0.1	0.3	発注見通しの公表 余裕期間制度の実施 最新の土木工事積算単価による積算
45	宮崎	2.8	0.8	2.2	1.7	5.2	6.7	3.5	4.9	-	-	-	-	-	-	-	-	入札不調が生じた場合は、条件付で随意契約を活用することになっている。
46	鹿児島	1.5	3.1	2.4	5.5	3.4	4	3	4.1	-	-	-	-	-	-	-	-	設計見直し、指名業者入れ替え及び既発注工事に当該工事の内容を追加する等の対策を行っている
47	沖縄	-	-	-	13.9	14.3	14.5	11.4	9.5	-	-	-	6.6	7.8	8.5	10.2	9.5	未回答
48	札幌	4	0.5	0.3	2.2	2.3	4.7	1.7	2.4	2.5	1	0.4	2.1	1	2.4	1.3	1.2	発注時期の平準化 工事内容の分離や一本化 工期や入札参加資格の再検討
49	仙台	17.38	15.9	16.61	19.17	15.1	15.2	12.49	11.88	7.5	5.3	6.74	4.46	5.39	5	3.39	5.73	未回答

50	新潟	1.04	0	0.17	0.61	0.49	1.95	3.16	1.7	0.9	0	0.17	0.41	0.25	0.22	0	0.49	未回答
51	さいたま	1.6	1.2	1.4	1.2	1.5	3.1	2.6	3.7	6.5	7	1.6	1.5	2.2	4.5	4.4	1.9	施工時期の平準化 入札参加資格の拡大
52	千葉	10.79	6.58	5.7	7.99	9.17	19.36	19.38	9.01	5.39	6.91	10.63	6.69	10.33	9.49	10.16	10.03	工事担当課にて単科改定や工期・施行内容の見直しを行った上で 再度発注を行っている。 入札状況を考慮し、地域区分等の資格参加要件の見直しも行っている
53	川崎	9.98	10.8	7.73	9.37	7.07	8.07	5.93	6.54	-	-	-	-	-	-	-	-	原因を調査し設計内容や積算を見直した上で再度発注を行っています
54	相模原	9.1	15	5	5.1	6	11.1	8.6	5.5	7.5	9.6	4.3	6.3	7.8	4.6	3.4	3.9	内容の見直しや参加条件の再設定を行った上で再度公告を行っている
55	横浜	10.8	10.8	8.9	7.3	6.9	10	6.1	5.8	-	-	-	-	-	-	-	-	未回答
56	静岡	5.2	2.6	3.1	2.4	2.4	7.3	10.4	8.8	2.2	1.7	3.9	3.3	4.9	3.3	4.7	3.2	未回答
57	浜松	1.8	2.2	2.5	2.4	3.9	6.2	5.9	5.5	3.7	3.6	5.5	6	5.2	8.3	6.2	5	未回答
58	名古屋	8	7.1	7.4	3.4	6.9	7.8	6	4.5	1.3	0.8	0.9	0.4	1.2	1.3	1.8	1.3	入札方式の見直し 入札参加資格の見直し 発注規模の見直し

59	京都	6.4	5.2	3.2	3.9	1.4	2.5	1.4	0.7	1.9	5.4	3.4	2.1	2.2	1.2	1.7	1.1	入札参加資格、工事内容、工期等を見直すことで競争環境を整えることができる→再度一般競争入札 上記以外のときや時間的な制約があるとき→随意契約
60	大阪	0.85	0.43	0.62	1.2	4.3	2.49	2.89	2.45	1.69	0	0	0.4	4.3	1.53	0.2	0	未回答
61	堺	0.23	0.93	0.53	0.22	0	0.97	0.91	0.24	0	0.19	0	0	0	0.24	0	0.24	不調等になった理由を分析して、設計金額や工期の見直しを行っている
62	神戸	5.8	5.6	6.9	9.6	12.9	14.4	10.1	13.3	3.2	2.7	1.9	2.9	4.1	4.6	3.8	3.4	①明許繰越や債務負担行為の積極的な活用、発注計画の策定と進捗管理 ②柔軟な工期の設定（余裕期間制度の活用）。設計・積算の前倒し ③スライド条項の適用 ④入札参加要件の緩和（入札不調案件に関する参加資格の市内本店から市内支社等への拡大、発注標準金額に対する参加可能等級の拡大） 不調不落が見込まれる工事の予定価格の事前公表 年度早期発注 工事ロット大型化と工事数削減 不調不落の可能性が高い工事区分の受注実績への総合評価落札方式での加点 詳細な現場条件の発注前確認 工事ヤードへの市有地活用
63	岡山	2.34	1.61	1.16	2.7	2.19	7.98	0.71	1.44	6.82	5.9	5	5.75	9.97	12.33	6.22	6.13	発注時期、積算内容、工期等の見直し及び参加資格条件の拡大を行い入札資格者の確保を図る

64	広島	11.94	14.79	10.58	7.1	7.93	24.01	17.07	6.16	13.57	15.44	13.34	11.86	8.95	13.31	11.28	8.64	主任技術者、原賠代理人の兼務を認める 工事着手日・選択型契約方式の採用 遠隔地からの労働者確保及び県債資材調達に係る費用の計上 復興歩掛・復興係数の導入 見積りにより決定した歩掛 単科の事前公開
65	北九州				3.3	5.2	6.8	3.5	3.1	-	-	-	-	-	-	-	-	辞退理由書等の確認やヒアリング等を実施し 入札参加業者及び辞退業者の見積りと設計金額の乖離箇所について妥当性を確認し設計金額の見直しを行う 技術者不足の場合、発注時期を閑散期に入札したり、入札参加条件を見直したりして入札対象者の範囲を拡大する
66	福岡	4	3	3	5	5	7	7	7	-	-	-	-	-	-	-	-	未回答
67	熊本	2.2	2.7	24	31.1	17.5	11	8.9	9.5	0.1	0	0.8	0.6	0.5	0.1	0.1	0.4	不調になった案件は廃案とし、再度担当部署から依頼があれば、仕様の一部を見直し変更する等をして別案件として発注している。